

新理事紹介

理事に選任されて

群馬県北毛支部
支部長 島村 弘子



この度、理事に選任された群馬県北毛支部の島村です。大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。誠に微力ではございますが、諸先輩方また会員皆様のご助言をいただきながら、任務を全うしたいと思っております。よろしくお願致します。

私と善行会との出会いは、平成十一年の秋でした。当初は「善行会」とは何なのか、全く分からずにおりましたが、その翌年の秋、私が三十年にわたり行ってきた青少年育成活動が評価され、秋の善行表彰の受賞が決定したとの連絡を受けました。戸惑いながらも出席した式典では、厳かな雰囲気緊張も致しましたが、立派な賞状を受け取り大変感激致しました。お聞きしておりますと、平成二十九年年度本会創立八十周年の節目を迎える大事業が控えている由、一役員として微力ながら応援をしてゆक्तつもりです。また、地方の一理事として支部会員の声を良い意味で反映できればと思っています。末尾になりますが善行会の益々の発展を祈念申し上げます。

支部だより

岩手県支部

平成二十八年度総会並びに善行表彰伝達式

岩手県支部は、釜石市大町の「釜石ベイシティホテル」において平成二十八年度総会並びに春季・特別善行表彰伝達式を六月四日に開催しました。総会は、平成二十七年年度事業報告・収支決算報告、平成二十八年度事業計画(案)・収支予算(案)について、慎重審議の結果、原案通り承認可決されました。その後、監事

に白澤氏・森氏が新しく選任されました。引き続き平成二十八年度春季・特別善行表彰伝達式を開催し、春季善行表彰受賞者(校)釜石市甲子小学校・釜石市大平中学校大槌高等学校の代表者、それぞれに表彰状と善行章が、特別善行受賞者に表彰状と善行銀章が岩間支部長より伝達され、受賞者の功績をたたえて、お祝いの言葉と激励の挨拶がありました。本日表彰を励みにより、地域の絆を大切に、地域社会活動に努めて参りますと、力強く感謝の言葉

宮本隆義氏、青少年指導部長に吉岡光一氏、社会福祉部長に大林セツ氏がそれぞれ承認された。次の伝達式では、北横一副支部長から、特別善行表彰受賞者の西村一夫、秀天支部長に表彰状と金章が、西村一夫秀天支部長からは、事務局長の大浦文男氏に表彰状と銀章が、副支部長の丸野忠義氏に平成二十七年善行川柳大賞会長賞の賞状と盾が伝達された。

香川県支部

平成二十八年度総会・特別善行表彰伝達式並びに懇親会を開催

平成二十八年六月十二日(日)、ホテルサンルート瀬戸大橋において、平成二十八年度総会と特別善行表彰伝達式、続いて懇親会を開催した。総会では、平成二十七年年度の事業報告、平成二十八年度の事業計画案、平成二十七年年度の収支決算報告、監査報告、平成二十八年度の予算案、規約改正が承認され、また平成二十八年度は、役員改選年度であり、新任として、支部長に西村一夫秀天氏、副支部長に吉本義弘氏、丸野忠義氏、事務局長に大浦文男氏、会計に大野勝氏、理事に

があり、その後、懇親会に移り、昨春秋、東宮御所に参内して「皇太子殿下」のご接見を賜った長寿善行者お二人より、永年の善行活動に激励のお言葉を賜ったお話を伺い、内容を語り合いました。出席者は和やかに和気相合と楽しく語り合い、児童会や生徒会活動、ボランティア活動等々も話題となり、意見交換するなどして、懇親会も盛会に行なわれました。



平成二十八年度(一)日本善行会香川県支部総会特別善行表彰伝達式

熊本県宇土支部

震災を乗り越え二十八年度総会と春季受賞伝達式

日本善行会 熊本県宇土支部(山下八郎支部長)は七月十七日、元松市長、西山県議、村田市議会議長、太田教育長を来賓に迎え、二十八年度総会並びに春季善行表彰伝達式を開催しました。山下支部長は熊本地震に際し全国支部からの義捐の心に触れ、支援の輪、絆に感謝しさらに善行の輪を拡げる活動を進めたいと挨拶。会員は震災後、初めての再会



熊本県宇土支部 平成二十八年度総会と春季受賞伝達式

を、六月三十日大分市教育センターにおいて開催致しました。来賓に大分市議会議長をはじめ大分市教育委員会児童支援室長、大分市社会福祉協議会会長をお迎えしての式典となりました。本年度は、個人一名、団体四の表彰の伝達を行

大分県大分支部

伝達式並びに定期総会を開催

平成二十八年度春季表彰伝達式並びに定期総会を、六月三十日大分市教育センターにおいて開催致しました。来賓に大分市議会議長をはじめ大分市教育委員会児童支援室長、大分市社会福祉協議会会長をお迎えしての式典となりました。

本年度は、個人一名、団体四の表彰の伝達を行

宮崎県都城支部

「第六回日本善行会創立八十周年記念事業準備委員会」

都城支部の活動報告をいたします。年間を通して、このつと一〇〇〇個以上の折り鶴を作成して、高齢者の方々にお渡しして、とても喜ばれております。



第六回の「日本善行会創立八十周年記念事業準備委員会」が、九月十六日に開催され、記念品(男性はネクタイ、女性はスカーフ)の準備、記念式典、祝賀会の来賓や感謝状贈呈対象者等その内容、今後の案内の段取り等について検討が行われた。

お知らせ

▽平成二十八年度 秋季善行表彰式

〔日時〕平成二十八年十一月二十六日(土)

〔場所〕明治神宮参集殿

善行川柳

選者 東 逸平

○咲く花も 忘るな根あり 水支え 北海道 齊藤 勉

評／「忘るな根あり」は、発音的に難がありますね。《咲く花も 水の支えと 根の支えと》としたらどうでしょう。か。一風鈴も 暖房ほしがる オホーツクは、纏まっていたよ。

○上州の べえべえ言葉は 有来なり 群馬県 横江 勇

評／「有来なり」が、これも発音的に工夫をしたほうがよいですね。いっそ《当たり前》としたら。

○加齢にも 善行心は 凛々と 東京都 松田多恵子

評／「加齢にも善行を積む日は 凛々と」としてみました。如何でしょうか。

○聞き役も 心癒さる ボランティア 香川県 丸野 忠義

評／心癒さる としないで「心癒され」とする場面が鮮烈になりますよ。川柳は、明るく分かれやすく、ユーモアを含めて詠むことを基本的に忘れないことがコツですね。誰にも分かる表現をしましょう。